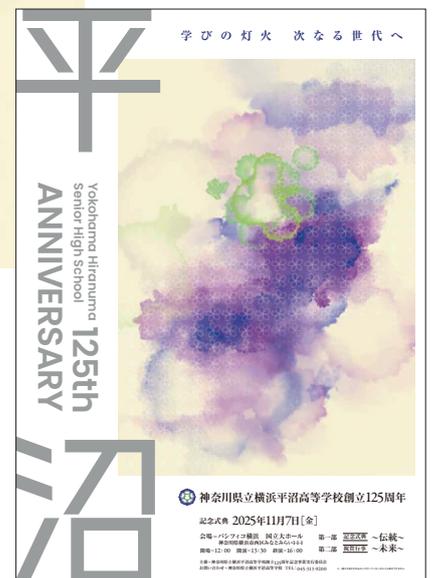
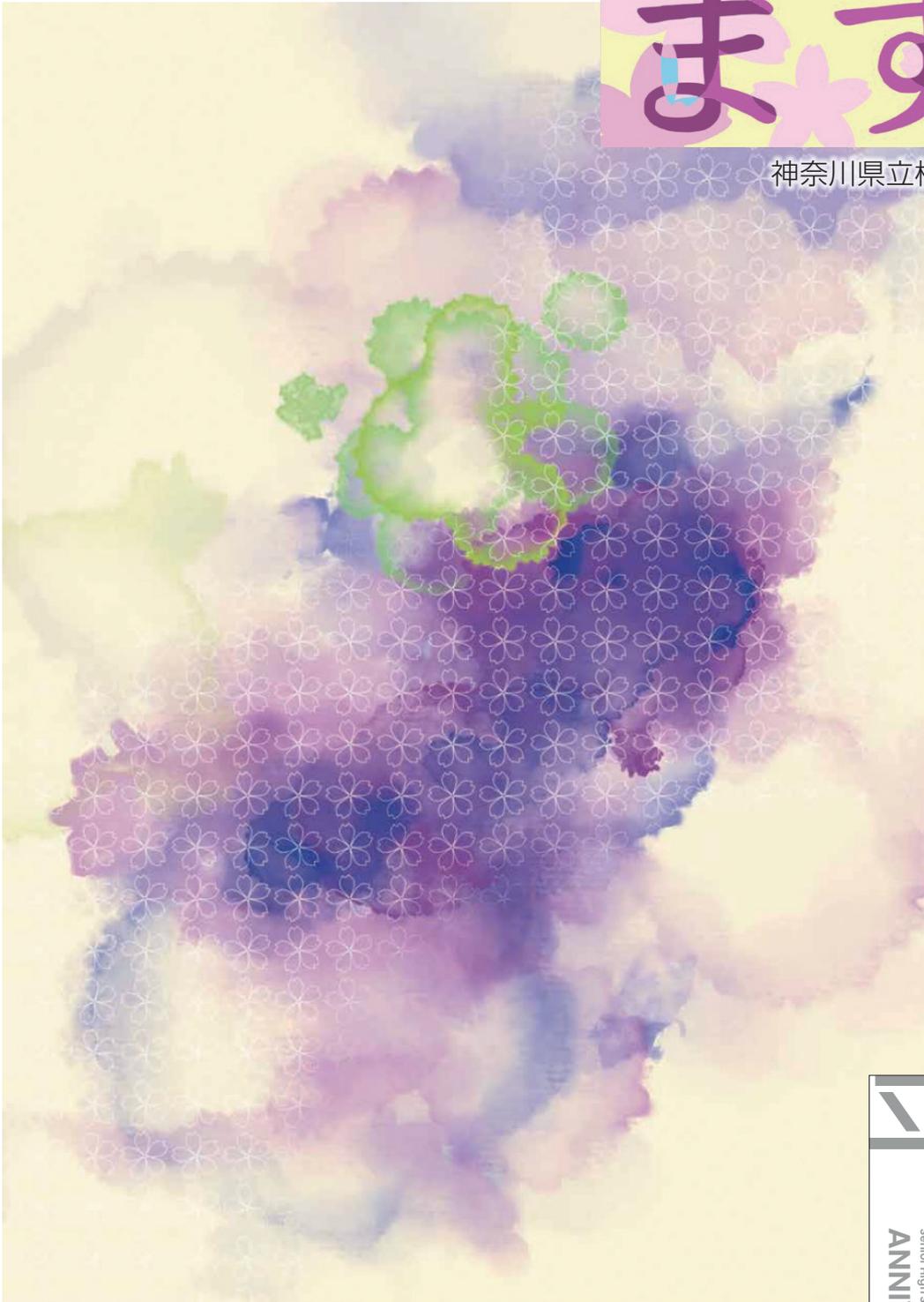


ますみ

神奈川県立横浜平沼高等学校同窓会



- 会長挨拶
- 創立125周年記念イベント
- 平翠戦
- 『ももふねちふね展』
- 座談会～清水ヶ丘校舎時代を語る～
河野重信さん(90期)・地代所(濱崎)万里さん(90期)
地代所哲也さん(90期)・野口朋子さん(90期)
- 評議員会・総会報告
- 年会費の「一括納入会費制度」のご案内
- 学校だより

- 先輩セミナー
- 支部だより
- 縦の絆
- 十年ひとふし
- ますみだより
- 校史あれこれ
- 青春かながわ校歌祭
- 一括納入(終身会費)納入者
- 寄付者ご芳名
- 創立125周年記念式典のご案内

創立125周年記念生徒デザイン
ポスター審査・グランプリ受賞
122期中西結瑞さんの作品

会長挨拶



祝 母校創立125周年 真澄会会長 皆藤 慎一(62期)

昨年のますみ66号でお知らせした通り、今年(2025年)11月7日(金)に創立125周年記念式典開催の運びとなりました。会員の皆様と式典の会場で喜びを分かち合いたいと思います。

2020年に開催を目指していた横浜翠嵐高

校との対抗戦「平翠(翠平)戦」は、昨年横浜翠嵐高校の創立110周年記念事業として開催することができました。OBOG戦も行われました。今年は横浜平沼高校の創立125周年記念事業の一環として行われています。25年後の創立150周年は新生横浜平沼高等学校(共学)として100周年の節目にあたり、25年後の平沼高校がどのような姿になっているか想像が付きませんが、今回の記念事業の企画にあたり、創立100周年事業の記録を参考にしてみました。今回の経験を今後の真澄会を担う次世代の方々に引き継いでもらいたいと願っております。創立125周年記念事業は真澄会員の寄付で成り立っています。これからも協力をお願い

します。また、会報に同封している母校からの「まなびや基金のお願い」は母校の施設整備に大きく寄与しています。この2年でグラウンドとテニスコートに夜間照明が設置されました。真澄会の運営も大きく変わり、SNSなどの対応で事務局メンバーの在宅作業が増えています。そして、この「ますみ会報」の発行費は真澄会予算の半分近くを占めるようになりました。理事会はこのような環境下でこれからの真澄会のあり方を検討しています。理事の大半は仕事を続けながら理事を務めています。来年度は理事の改選期であります。会員の皆さまのご協力に期待したいと思います。

創立125周年 記念イベント

5月5日(月・祝)、本校小ホールにて、創立125周年記念イベント第1弾「開校記念日を祝おう!応援しよう!!」が開催されました。「5月5日はこどもの日である前に平沼高校の開校記念日。この日こそイベントにふさわしい!」そして、「イベントだからこそできることを!」と、生徒実行委員会が企画・立案しました。現役生からは、学年ごとにエネルギッシュな演技を披露してくれたダンス部と、ウクレレのイメージを超越した巧みな演奏を披露してくれた佐川蒼太さん(124期)が参加。卒業生からは、書道家としてご活躍の原龍児さん(80期)による、創立125周年キャッチコピー『学びの灯火 次なる世代へ』を力強く一気に書き上げるパフォーマンスを披露。また、応援



団OBの須藤尚紀さん(78期)のリードによる応援歌3番と、記念すべきこの1年を心ひとつに突き進んでいけるよう鼓舞すべく、拳を高らかに挙げ歌う校歌の指導とエールを送っていただきました。この時、本校職員かつ応援団OBでもある藤山直樹先生(98期)により掲げられた12畳分もある大団旗は小ホールの天井を突き破るほどの大きさで初めて目にする人々を圧倒しました。そしてもう一つのメイン企画である「全員ファウスト」。本来、在学中に1回しか踊ることのできないファウストを、ダンス部3年生の模範演技に倣い、参加者全員で踊りました。現役生と卒業生がフロアいっぱいに踊っている様子や「ファウス

トってこんなにハードだったっけ?」と言いながら、まるで高校時代に戻ったかのような参加者の笑顔は、最高の瞬間でした。Happyバースデーの歌に合わせてバースデーケーキが登場したり、実行委員長らのキャノン砲発射には歓声があがったり、参加した全員が笑顔で楽しみ盛り上がりました。現在を生きる現役生と、かつてを駆け抜けた卒業生…共有したこのひと時は、次なる世代への布石となったのではないのでしょうか。教諭:濱谷(中込)弘子(80期)



トってこんなにハードだったっけ?」と言いながら、まるで高校時代に戻ったかのような参加者の笑顔は、最高の瞬間でした。Happyバースデーの歌に合わせてバースデーケーキが登場したり、実行委員長らのキャノン砲発射には歓声があがったり、参加した全員が笑顔で楽しみ盛り上がりました。現在を生きる現役生と、かつてを駆け抜けた卒業生…共有したこのひと時は、次なる世代への布石となったのではないのでしょうか。教諭:濱谷(中込)弘子(80期)



平翠戦

昨年度は創立110周年を迎えた横浜翠嵐高校が主務校として開催した「翠平戦」でした。サッカー、ハンドボール、バスケットボール、テニス、野球(OB戦も)と対戦し、残念ながら優勝旗は翠嵐高校に授与されました。今年度は創立125周年を迎える横浜平沼高校が主務校として「平翠戦」が行われています。5月5日(月・祝)に本校で平翠戦開幕セレモニーが小島由美校長、皆藤慎一真澄会会長、江成正彦翠嵐会会長が出席して行われ、生徒会長から「長い歴史を繋ぎ、平翠戦が復活できることを感謝します。」

と挨拶がありました。これまでにサッカーや剣道の競技で生徒だけでなく、OB・OG戦も実現することができました。6月28日(土)・29日(日)、平沼高校、翠嵐高校ともに文化祭(平沼祭・翠翔祭)が開催されました。その中で両校の写真部が「2025平翠戦文化部交流事業」として、互いの文化祭において両校の作品を展示しました。平翠戦文化部交流の第一歩となる意義ある企画となりました。詳しくは真澄会ホームページをご覧ください。



▲中央が翠嵐高校写真部作品



『ももふねちふね展』横浜平沼高校 —芸術が育つところ— 母校125周年記念美術系卒業生からのエール

創立125周年記念事業のプレイベントとして、百貨店 横浜高島屋画廊にて、2024年8月7日(水)～12日(月)の6日間開催いたしました。後援:創立125周年記念事業実行委員会・横浜平沼高等学校同窓会 真澄会

出展作家:9名

- 安藤 和夫さん(68期) 【創作家具】
- 鳥山 玲さん(71期) 【日本画】
- 今井 陽子さん(77期) 【絵画】
- 三小田智子さん(77期) 【写真】
- 伊藤 有壱さん(78期) 【アニメーション】
- 浅野 信二さん(82期) 【油彩画】
- 向田 陽佳さん(84期) 【根付・書・和小物】
- 飯野 夏実さん(99期) 【陶器・モザイク】
- 小川名 樹さん(115期) 【漆芸】

- 【協力】
原口 優子さん(84期)
【横浜高島屋美術部
展覧会主催 タイトル発案】
久古はる香さん(110期)
【タイトルコンセプト提案】
山本 博人さん(75期)
【ももふねちふね展 商標登録】



作品についてはますみ66号で紹介させていただきました。



特別展

日本画家荏司 福さん(23期)の作品画像(神奈川県立近代美術館所蔵)、生徒(5期)の日本画(臨画)作品。生徒作品は、2012年歴史資料委員会の永森邦雄さん(50期)他スタッフが発見・調査された貴重な資料で、委員会が管理所蔵していたものです。創立当初 如何に美術教育の水準が高かったかを物語っています。



▲
展覧会を追体験
できます。
期間限定で公開
しています。

志賀社会保険労務士・行政書士事務所

志賀一史(71期) お気軽にご相談ください!

〒220-0023
横浜市西区平沼2-2-1第2三光ビル603
TEL: 045-620-0268
FAX: 045-620-0269
E-Mail: shiga.kazufumi@gmail.com

労働保険 社会保険 就業規則 残業・解雇	建築業許可 会社設立 遺言・相続 成年後見
-------------------------------	--------------------------------

座談会～清水ヶ丘校舎時代を語る～

母校創立125周年行事にむけて

2025年3月9日(日)開催

今年、私たちの母校は創立125周年を迎えます。125年の歴史の中で平沼高校が岡野の地を離れた時代があったのをみなさんご存じだったでしょうか?そんな稀有な時代を過ごされた90期の河野重信さん、地代所哲也さん、地代所(濱崎)万里さん、野口朋子さんにお集まりいただき、当時の思い出を語っていただきました。司会は真澄会副会長の松本(奥坂)伊戸美さん(73期)が務めました。



司会 今年私たちの母校は125周年の節目を迎えますが、その長い歴史の中で現校舎建て替えのための約二年間、平沼高校が岡野の地を離れたことがありました。

90期の皆さんは二代目の校舎で受検をしてそれから清水ヶ丘校舎で二年間を過ごし、その後、現校舎で一年間を過ごすというとても稀有な体験をした学年ということになります。その時代の思い出を今日は存分に語っていただこうと思います。実はこの座談会のきっかけは野口さんが清水ヶ丘のプレハブ校舎を去る時に、校舎の内部を撮影した写真を平沼祭(2024年6月)の時に真澄会室にお持ちいただいたことでした。野口さん、その時はどのような思いでシャッターを切られたのですか。

野口 学校生活が楽しかったのでプレハブ校舎も嫌いではなかったですし、取り壊されてなくなってしまうのかと思うと寂しくもありました。記録魔というか、何でも残しておきたいという性格で当時も自分が過ごした校舎を写真に残したくて、教室と部室を往復するぐらいの毎日でしたが、手洗い場、下駄箱、中庭など何気ない日常の場所の写真も撮りました。

が、二代目の校舎はさよならパーティーをちゃんとやってお別れをしていますね。そういう意味ではプレハブ校舎ってのはなんとなく新校舎に引越してきちゃったよって感じだったのかもしれない。貴重な資料を残していただきありがとうございます。さて、校舎建て替えについては当時としては珍しい高層建築ということで計画が示されていたと思いますが、みなさんは校舎の建て替えについてご存じだったのですか。

万里 私は越境入学で受検しましたが、学校が駅から近いということも魅力の一つでした。建て替えのことは全く知りませんでした。合格者説明会で倉橋先生から「4月から君たちは清水ヶ丘の校舎で学ぶことになるが学校生活を有意義に過ごしてほしい」と言われ、なんと表現したらよいか、「ガーン」ときました。

哲也 私は自宅が平沼高校徒歩圏内ですので歩いて通うつもりでした。まさか、通学定期を持つ身になるなど予想もしませんでした。清水ヶ丘ってどこ?何線に乗れば良いのかもわかりませんでした。

河野 私もまったく知りませんでした。

野口 合否ばかりを心配していて校舎建て

参加者プロフィール

河野重信さん(90期)

在学時は吹奏楽部。三年時には合唱部兼部。在学時は目立たない今でいう陰キャラ、影と自分では思っている。現在は落語家柳家小せんとして活躍中。

野口朋子さん(90期)

在学時代はオーケストラ部。楽器はホルン。大学までホルンを続けていたが現在はバイオリン、陶芸が趣味。

地代所(濱崎)万里さん(90期)

母からの薦めで鶴見区からの越境入学(当時の受検は学区制)。在学時は弓道部。当時プレハブだったにもかかわらず大変素晴らしい弓道場を使わせていただいた思い出がある。父・地代所達也さん(59期)は元真澄会理事。妹の地代所智子さん(93期)はちょうど入れ替わりに平沼高校(新校舎)に入学。

地代所哲也さん(90期)

在学時はラグビー部。清水ヶ丘校舎時代はサッカー部や野球部とグラウンドを分け合って練習。新校舎に移ってからは、かげきだらけのグラウンドで練習。父・地代所達也さん(59期)は元真澄会理事。妹の地代所智子さん(93期)はちょうど入れ替わりに平沼高校(新校舎)に入学。

写真左より
地代所(濱崎)万里さん・地代所哲也さん・河野重信さん・野口朋子さん

河野 同期にこういう人がいると思いきや、思い出をよみがえらせてもらえてうれしいです。

司会 初代の校舎は突然関東大震災で潰れてしまいま

替えの話はいつ聞いたかもあまり記憶がなく、少し通学が遠くなるねという程度だったかと思えます。

司会 学校説明会も開かれ、いろんな情報を周知されたと思いますが、受検生だった皆さんが校舎建て替えの話を受検前に認識していなかったというのは改めてびっくりしました。

さて、合格発表はどこでしたか?

河野 たしか平沼高校の心字池のあたりで受験番号が貼り出されていました。

万里 受付で番号を渡されて席に着きましたが友達が一人もいないのでとても心細かったです。オーケストラ部が「風と共に去りぬのタラのテーマ」を演奏してくれたのはよく覚えているのに、呼名で名前を呼ばれた記憶はありません。

野口 私は同じ中学校から進学した友達と写真を撮りました。入学式の内容はあまり覚えていませんが万里さんの話を聞いて確かにオーケストラ部の演奏があったことを思い出しました。

司会 横浜平沼高校100周年記念フェイナルコンサート(2001年1月27日)では野口さんがホルン、河野さんがパーカッ



ションで参加されていますね。

野口 河野君は吹奏楽部部長でしたよね。
河野 なぜか、そうでした(笑)。第15回定期演奏会(1992年4月1日)は藤沢市民会館でぬらひま団、吹奏楽部OB会の皆さんにも参加いただきました。

司会 さてプレハブ校舎での生活が始まるわけですが、よく語り伝えられているのは夏の暑さでしょうか。今のプレハブとはかなり構造が異なり過酷だったことが記念誌等にも回想が掲載されていますが、実体験として記憶されていることがあればちょっと伺いたいです。

河野 夏は暑い、冬は寒いで快適な季節がなかったですね。寒いのは重ね着などで防寒できたけど夏は本当にどうしようもない暑さでした。

哲也 屋根が鉄板みたいなもんだから夏はとにかく教室内が暑くて参りました。クーラーもない、扇風機もない。窓を開けるだけの生活で生徒だけでなく先生方も体調を崩して授業どころではなくなることもありました。そういえば、英語科の志水仁先生は首タオル、扇子が定番スタイルでした。

万里 最近の猛暑ほどではなかったのですがクーラーなしでも少しは耐えられましたが、スカート丈は短くなり、見た目も憚らずスカートの下から下敷きで風を扇ぎ入れたりしてました。28組の教室は清水ヶ丘高校のプールの脇だったのでプール授業の様子がよく聞こえてきました。私たちはプールがなかったし、体育館もなかったのでもっとうらやましく感じました。

野口 窓やドアが開いている夏は他のクラスの授業も聞こえてきました。隣のクラスから福田先生が笑いながら「おい、吉田、バケツに足を突っ込んでいるのか?」と言ってい



野口 部室は教室の半分のスペースにオーケストラ部と吹奏楽部が楽器を入れていました。それでも残された狭いスペースに小さい冷蔵庫、ポット、ベンチを入れたりして5、6人がお弁当を食べたり、おしゃべりすることができました。なにかと部室に集まっていたよね。

河野 床にレジャーシートを敷いて上履きを脱いでくつろいでました。

野口 夏は窓を開放しているのでグラウンドからの砂埃がひどくて楽器は砂だらけ。きつと私たちが砂だらけになっていたと思います。今思うと弦楽器や木管パートのみんなも手入れは大変だったと思います。

万里 私は弓道部でしたが、プレハブ校舎だったのに立派な弓道場があり驚きました。
哲也 私はラグビー部でしたが、清水ヶ丘高校のグラウンドはわりと広がった記憶があります。部員は50人位いて学年ごとのチームが作れました。部室は想像を絶する汚さではありましたがなぜか居心地がよくて早弁したりしてました(笑)。

司会 1991年7月1日に暑さ対策の簾設置工事をしたという記録が百周年記念誌年表に記されていますね。

野口 どこについていたのか記憶がないですね。一番日が当たって暑くなる場所についていたのでしょうか。

司会 冬の寒さのほうはいかがでしたか?
河野 外でスポーツをしているように感じるぐらい隙間風がすごかったですね。

野口 暖房は石油ストーブでした。友達のクラスではストーブの上でおでんを温めていて匂いが充満したという話も聞きました(笑)。
万里 防寒のために制服の上に着る服装やスカートの下のはきものも割と自由でした。おでんも許容範囲だったのでしょうか?結構長期間おでんの良い香りが漂ってましたよね。

河野 雪の日は南太田駅からの坂を上ってくるのに一苦労しました。
万里 普段はサッカー部が坂ダッシュしていた急坂ですね。私は雪の日にグラウンドで雪だるまを友人たちと作りましたよ。

司会 部活動の思い出はいかがですか?
河野 教室の使用は特にオーケストラ部はパート練習などもあって取り合いになるのですが、教室もわりと自由に使わせてもらってましたね。

司会 学校行事はいかがでしたか?
万里 球技大会も集会室でやりました。応援のためにクラスTシャツを作ったりしまし

だが集会室が狭いので中には入れずでした。クラス対抗の綱引き大会もやったような気がするのですが。

野口 体育祭は在学中一回だけ三ツ沢競技場でやりましたね。文化祭は毎年ありました。女子二人組がリレー形式で男子に洋服などを着付けて女装をさせる「ミス平沼」もあって楽しかったです。今日、パンフレットやPTA会報を持ってきました。

一同 なつかしい〜



万里 体育祭では3年女子有志が保健体育科の田村先生のご指導の下ファウストを踊りました。田村先生も定年退職が迫っていたので後輩たちにつなげていってほしいという気迫に満ちたご指導でした。

万里 そういえば通学路での思い出があるのでは。

哲也 横浜市立横浜商業高校(Y校)と神奈川県立の清水ヶ丘高校と横浜平沼高校の三校が南太田駅を利用するのですが、駅近くにおばあちゃんが一りでやっていると思われる駄菓子屋がありました。私が一年生の時にはY校は甲子園に出場したのですがその野球部員とも駄菓子屋で一緒になり「テレビで見た3年生だ」と秘かに興奮していました。清水ヶ丘高校の女子に通学の電車の時間を聞かれたこともありました。

司会 いよいよ二年生までが終わって新校舎へ引越することになるのですが、学校の引越しというものもなかなか経験できるものではないですね。どんな感じだったのですか？

河野 吹奏楽部は演奏会が終わると部活の執行部が代替わりするので、私は楽器の移動など何も関わっていません。91期が大変だったのかもしれませんが。

哲也 私も教室や部室から何かを移動したという記憶はないですね。

野口 私は、きっかけは覚えていないので

すが、旧校舎から使用していた理科室(?)の椅子が廃棄になると聞いて友達と、「もったいないですね。椅子をもらってもいいですか？」と担任の先生に聞いたことがあります、「古いものを大切にすることは良いことだね」と普段

辛口コメントの先生に言われてちょっと嬉しかった記憶があります。一脚を東急ハンズの大きなビニール袋に入れて南太田から家まで担いで持ち帰りました。友人は7〜8脚ほしいから赤帽を頼んで持って帰ると言っていましたが実際どうだったのか、知りたいです。

持ち帰った椅子は多少のぐらつきはありますが今も大切に使っています。椅子に旧校舎とプレハブ校舎の思い出が息づいているようで一人ではほほ笑んでしまいます。

新校舎では3年生(90期)は新しい椅子と机で授業を受けました。今思えば予算の都合もあったのかもしれませんが、90期はプレハブ校舎で2年間苦労したからという話も聞いた記憶があります。

万里 清水ヶ丘校舎の弓道場も立派でしたが、新校舎の弓道場も矢取りの専用道がある素晴らしいものでした。校舎の外壁が藤色だったのでラブホテルに間違えられることもあったと聞いています。お昼時には小ホール前にはパン屋さんがきてくれました。清水ヶ丘校舎では下駄箱の脇での販売ですが買いに行けたので小ホールまでの道のりが少し面倒くさいと感じました。

野口 新校舎では、一足制(上履き不使用)、エレベーターあり、生徒は掃除はしなくてよい、エアコン完備と知り、聞いたことのないことばかりでとにかくワクワクしました。

万里 木や花も植えたばかりで細々していて校庭の半分は資材置き場でした。体育祭が中断したのもこの時からでしょうか。

哲也 新校舎へ移ると部活動もすぐに思い切りできると思っていたのですが、旧校舎を取り壊した廃材や資材でグラウンドが狭くなっ



ているうちに、釘や建築材料の細かいゴミがたくさんグラウンドに落ちていて、ラグビー部はしばらくはグラウンド整備の毎日でした。

河野 そんな中でも9月には平沼祭をやったんだよね。

万里 当時の平沼祭は9月でした。クラスのみならず仲良くなってからなので受験を考えている人も浪人覚悟で絶対に最後の平沼祭ではじめますという人も適材適所というか、息が合っていました。

32組は最初はおき氷をやろうとしましたが、田中先生に「君たちの能力を発揮するのにそれでよいのか」と言われ、バルセロナオリンピックの年だったので劇「カルメン」をやりました。

司会 そのころから3年生が平沼祭で劇に取り組むことが伝統となったようですね。さて、では平沼高校時代を振り返ってどうですか？

万里 いまだに仲良くお付き合いをさせてもらっている友人がいて、会うと一瞬のうちに高校生に戻ってしまいます。本当にいい時代です。河野君が小せん師匠として活躍しているのも誇らしく寄席に出かけたこともあります。

哲也 河野君とは25組の教室でする麻雀ゲーム仲間だったよね。

河野 休み時間だったのかな。授業と部活動の忙しい学校生活の中でよくそんな時間あったよね。

野口 花橋を読み返して思い出しましたが、漫画を貸し借りしたり、トランプゲームも流行っていました。校風がおおらかでそれぞれのクラスの仲が良いなと思ってました。プレハブ校舎で過ごしてかわいそうと思われがちですが楽しい思い出がいっぱいです。今回の対談をきっかけにプレハブ校舎で過ごした学年の皆さんからまたそれぞれのエピソードや思い出がよみがえったらいいなと思います。



哲也 私の時代は生徒もぎゅうぎゅう詰めなのエレベーターに乗っていましたが、教育実習生として新校舎に通った時には生徒は階段を使うようになっていました。時代とともに少しずついろんな変化をしながら新校舎が生徒たちになじんでいるなと感じました。

野口 7階からの富士山の眺めは変わりませんが、在学中は建設中だったランドマークタワーは完成していて時の流れを感じます。

司会 今日はたくさんのお話をありがとうございました。ありがとうございました。



記録編集:鈴木(茅野)久美子(75期) 写真:桐生達夫(65期)

清水ヶ丘校舎での教育実習の思い出

岡本(藤木)千尋さん(84期)



ホームページで清水ヶ丘校舎時代の思い出など募集したところ、岡本(藤木)千尋さん(84期)が文章と写真を寄せてくださいました。

91年に教育実習生として清水ヶ丘に通いましたので、番外編としてご容赦ください。丘、というより山の上の清水ヶ丘校舎は、南太田からも保土ヶ谷からもちょっと遠く、6月のじめじめした日々道のりは険しかったです。実習生というのは面白いもので同期も先輩・後輩もいて、卒業生以外の学生もいました。旧校舎で使っていた赤い椅子と机がある会議室が実習生の控室で、2週間、授業の準備をしました。陸上競技会では、実習生は完全に裏方で先生方も学生を当てにしているのがわかりました(笑)。実習最終日のホームルームで、お礼とお別れの言葉をお話したのですが、担当のク

ラスの生徒たちはあっさりしたもので、何か気抜けしてしまいました。授業も終わり控室で片づけていたところ生徒が呼びに来てクラスに戻ると、『先生ありがとう!』と寄せ書きと大きな大きな花束をいただき、ちょっぴり涙の最後でした。【後日談】そんな感動の実習でしたが、教員採用試験を受験せず神奈川県職員となりました。高1高2とお世話になった家庭科の先生、高3の担任の先生、教育実習でお世話になった先生に仕事を通じてお会いする機会があり、高2の副担任の先生とは、研修で一緒することに! 教員にはなりませんでしたが教育行政に遠くで関わっております。

プレハブ校舎の思い出

金田尚志さん(90期)

平沼高校を卒業してから7年が過ぎ、私の同期達も結婚したり、企業で活躍したりとそれぞれの道を歩んでいることと思います。在学当時のこと、特にプレハブ校舎の思い出について書かせていただきます。新校舎の建設に際して、平成2(1990年)年より南区の清水ヶ丘高校の横に建設されたプレハブ校舎に移転しました。我々は、入試と入学前のオリエンテーションは旧校舎で行いましたが、入学式は青少年センターで行い、それからは仮校舎での生活が始まりました。アットホームな雰囲気の仮校舎は、他のクラスや学年と親近感があり、馴染みやすかったです。仮校舎特有の問題も多く、体育館がないために、室内系の部活は他の体育館等の施設を借りていましたし、離着任式は隣の清水ヶ丘高校の体育館をお借りして行われました。全校生徒が集合できる場所が

最後に、卒業後7年が過ぎて金田尚志さん(90期)が創立百周年記念誌に寄稿くださった文章をご紹介します。

ないために、行事の中には放送で行われたものもありました。一番の問題は、夏に教室の温度が40度近くにも上昇することです。さすがに授業どころではなく、うちわや扇風機が必需品でした。窓には簾が掛けられ、天井の工事などの対応策がとられました。夕方近くになると涼しくなり、部活のあとのシャワーを浴びるととても気持ち良かったです。プレハブ校舎なので音や振動には弱く、騒いでいるとよく注意されました。四限が終了しますと、昼食を買いに行く人達が教室を揺らして廊下を走っていきました。お昼は、パン屋さんが売りにきますし、自動販売機でジュースも売っていました。両方とも行列ができるので、急いで買いに行くのです。個人的には、ツナボールとチーズボールが好きでした。友人たちもおいしいと言っていたので、人気のあるパンだったと思います。

仮校舎というハンディはありましたが、生徒達はみんな工夫したり、その環境に順応したりと楽しい高校生活を送っていたのではないのでしょうか?特に文化祭は、遠いところを沢山の方に来場していただきましたし、その内容はどれも素晴らしいものであったと記憶しています。そのあたりはさすが平沼生だと感じました。そんな楽しい思い出がたくさん詰まった仮校舎が壊されてしまったときには少し寂しい気持ちになりました。三年からは、平沼に戻り新校舎での生活が始まりました。冷暖房完備でエレベーター付、一足制で教室へは靴でOKという全く異なったスタイルになりました。体育館も立派ですし、施設はあらゆる面ですごいものです。仮校舎と新校舎と異なる環境で高校生活を過ごせたことは、大変貴重な体験ですし、今となっては懐かしく、そして良い思い出です。

評議員会報告

2025年4月20日(日)13時から16時30分まで母校第二視聴覚室およびオンラインの併用で評議員会が開催されました。評議員の出席者は視聴覚室に15名、オンラインで5名。その他真澄会理事および事務局スタッフも出席しました。

議長には 岩井未知男さん(74期)が選出され、議案書に記載されたすべての議案が原案どおり承認されました。また、真澄会監事である枅崎一之さん(62期)、柴田典明さん(72期)による監査報告も行われました。

第1、2号議案 2024(令和6)年度事業報告および2024(令和6)年度決算報告

第3、4号議案 2025(令和7)年度事業計画および2025(令和7)年度予算(案)

第5号議案 真澄会特別会計基金の集約

第6号議案 「激励金交付規程」と「特別支援金規程」の統合

報告事項は以下の内容が説明されました。

1. 創立125周年記念事業実行委員会からの報告
2. 平翠戦の実施概要
3. 会員の皆さまへのお願い
 - ①125周年記念事業への寄付金のお願い
 - ②一括納入制度への加入のお願い
 - ③125周年記念式展への出席のお願い
4. 創立125周年記念懇親会



評議員からは特別支援金の遠隔地について明確にしてほしいという意見や創立125周年事業の予算についての質問がありました。遠隔地については今後の課題とし、創立125周年事業の予算についてはご意見を考慮して総会で説明をさせていただきます。平翠戦についてはOB・OG会の活性化に繋がるのでこれからも長く続くと良いという意見が出ました。

総会報告

2025年5月18日(日)母校小ホールおよびオンラインにて2025年(令和7年)度真澄会



総会が開催されました。当日は小島由美校長、川上司副校長、川崎幸教頭、島崎理恵子事務長にご臨席いただきました。総会の開催に先立ち、同窓生であり平沼高校で長年教鞭を執られた斎藤幸雄先生(55期)が4月8日にご逝去されたことを受け、哀悼の意をこめて黙祷が捧げられました。

皆藤慎一会長および、真澄会の名誉会長でもある小島由美校長の挨拶の後、議長には加藤(新山)未知さん(82期)、書記には矢崎真理さん(74期)が選出されました。

会場の小ホールには理事、監事、事務局スタッフ含む32名が出席し、またオンラインでは5名の会員が参加しました。

審議された第1号議案から第6号議案まですべて承認されました。

また、創立125周年記念事業関連の報告が行われました。

(評議員会の報告事項4. 創立125周年記念懇親会は報告事項1で合わせて説明)

総会議案書は真澄会ホームページに掲載されています。

年会費の「一括納入会費制度」のご案内

2024年度の総会で、真澄会費の「一括納入会費制度」を選択できる方法が承認されました。これまで年会費は2,000円で、70歳になると「終身会費制度」を選択でき、20,000円を一括納入することで以降の年会費は免除されていました。しかし、制度変更により、「終身会費制度」の「70歳以上」という年齢制限が撤廃され、すべての会員が「一括納入会費制度」を選択可能となりました。これにより、制度を選択した方は今後の年会費が免除されます。創立125周年記念事業の一環として2025年度・2026年度の2年間を推奨期間としています。ぜひこの機会に同封の振込用紙で

「一括納入会費制度」をご活用ください。

なお、会費免除中の118期から122期のみなさまが「一括納入会費制度」を選択する場合は10,000円を納入してください。

総会で振込票だけでなく、会報の紙面にも振込口座を記載してほしいというご意見がありましたので以下に掲載します。振り込む際にはお名前後に卒業期とクラスを記入してください。(例75期⑧)

ゆうちょ銀行:口座記号番号:00230=6=1202(右寄せ)

加入者名:神奈川県立横浜平沼高等学校同窓会 真澄会

懇親会開催

総会終了後、HOTEL THE KNOT YOKOHAMA にて真澄会懇親会が開催されました。小島由美校長をはじめ来賓3名をお迎えし、49期から122期までの会員41名が一堂に会した世代を超えた交流が和やかに行われました。

皆藤会長、小島校長の挨拶に続き、乾杯の発声は石渡祥男さん(57期)。母校創立125周年記念動画などを観ながらの歓談の後には、100周年実行委員長であった永森邦雄さん(50期)、ファウスト復活に尽力された山口精一さん(52期)、通信課程の歴史を



えて渡されました。121期、122期の若い方々からは、「在学中は部活動などで真澄会に支援していただき感謝の気持ちでいっぱいですが、これからは、僕たちが支援する立場として真澄会員として頑張っていきたいです」との頼もしいスピーチがあり、会場は大きな拍手に包

まれました。

また、75期同期会から創立125周年記念事業に25万円の寄付が創立125周年実行委員長でもある真澄会会長に手渡され、あわせて石井(稲榎)太さん(74期)から真澄会への1,000万円の寄付も報告されました。終盤、校歌斉唱のリードは司会も務めた渡邊和彦さん(75期)によって行われ、「フレーフレー平高!」の掛け声とともに会場は熱気に包まれました。最後は松本(奥坂)伊戸美さん(73期)の閉会のことばで盛会のうちに幕を閉じました。

2026(令和8)年度 総会・懇親会のご案内

*総会

○日時:2026年5月17日(日)13時30分より ○場所:母校小ホール
歴史資料展示室は12時30分より開室しています。見学した後、小ホールにお越しください。

*創立125周年記念「ラストイベント」のご案内

横浜平沼高校創立125周年記念懇親会を「ラストイベント」として、2026年度真澄会「総会」の後に実施します。

*懇親会

○時間:2026年5月17日(日)16時開始予定
○場所:シェラトン・ヨコハマ ベイ・ホテル&タワーズ5階「日輪」
「ラストイベント」へむすび・つながり
周年の祭りに終わりを告げる場として、創立125周年記念事業を締めくくり(結び)、卒業生である真澄会会員が、後進の現役生、未来の入学生まで(繋ぐ)願いを込めて、母校の歴史と伝統の承継と発展、進化へと、夢を託す場とする企画です。ラストイベントの企画内容等は、実行委員長の須藤尚紀さん(78期)を中心に実行委員会で検討し、詳細が決まり次第真澄会ホームページ等で公開していきます。真澄会会員の皆様には、総会と併せて創立125周年記念懇親会「ラストイベント」への奮っての参加をお願いいたします。

122期 評議員



122期生の評議員です。4名全員が立候補しました。左から 山里碧さん 須田史奈さん 石川由唯さん 大友海青さん

125周年記念グッズ



式典当日(11月7日)に販売します。お越しになれない方は、事務局までご連絡ください。
045(311)3356 火曜日のみ
jimukyoku@masumikai.org
レターパックライト(¥340)で発送いたします。

☆ハーバーをご希望の場合は予約となります(締切9/30)。
11/8以降、宅配便にて発送します。
送料はご負担願います。



株式会社 アルテジェネシス 〒231-0028 神奈川県横浜市中区鶴町 1-4-1
アルテマリンウェーブビル5階 TEL.045-663-6123

代表取締役会長 吉原 直樹 (71期)



株式会社アルテジェネシスは美容サロン事業を展開するグループ各社を統括し、店舗開発・賃貸、教育、流通、プロモーション、M&A等の経営指導面で各社をサポートしております。国内では関東圏を中心に展開する Ash 127 店舗、ChokiPeta 76店舗、関西圏に展開する NYNY38 店舗をはじめとして 365 店舗。国外ではシンガポールへ 1 店舗展開しております。

(2025年5月末現在)

We don't say

NO

どんな要望や変化にも柔軟に対応し
「NO」と言わないのが私たちの誇りです

業務内容

イベント・展示会・講演会・式典・コンサート・演劇
ディスプレイ広告・web・印刷デザイン・映像制作

株式会社オフサイド

横浜市西区みなとみらい 2-3-5 クイーンズタワー C 18 階 TEL : 045-661-0622



HPはこちら



ごあいさつ
校長 小島 由美

令和4年4月、横浜平沼高等学校第32代校長を拝命し、今年で4年目を迎えました。明治33年の開校以来、社会で活躍する数多くの人材を輩出している歴史と伝統のある本校で校長として勤務できる喜びを日々感じて過ごしています。また、昨年度も「まなびや基金」に多額のご寄付をいただき本当にありが

とうございました。小ホールの音響設備、ハーブやファゴットなどの高額楽器、テニスコートの照明、教室の遮熱フィルム等に活用させていただきます。真澄会の皆様の多大なるご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。今年の11月にはパシフィコ横浜国立大ホールにおいて創立125周年記念式典が実施されます。また創立125周年記念事業の一環として、数々のイベント、横浜翠嵐高校との部活動対抗戦「平翠戦」の復活等があります。職員一同、横浜平沼高校でこの特別な年を過ごせることに喜びを感じ、心に残る式典となるよう、真澄会、PTAと力を合わせて準備を進めております。イベントや創立125周年記念式典では、同窓生の皆様に現在の生徒たちの様子を見ただけの多くの企画を用意しておりま

す。時代の流れとともに生徒の活動も変化し、皆様が在校されていた当時とは部活動の種類も活動の状況も変わり、驚かれることも多いと思います。5月9日に開催された体育祭では、今までは3年女子生徒が踊っていた「ファウスト」に男子生徒が参加し、優雅でエレガントでありながら、新しい時代の「ファウスト」を披露いたしました。多くの変化はありますが、真面目で、素直で、穏やかで、何事にも一生懸命取り組む平高生らしさは変わることはありません。学業も学校行事も部活動もすべてに全力で取り組み成果を残しています。ぜひ、11月には創立125周年記念式典に足を運んでいただき、旧交を温めるとともに、現在の横浜平沼高校の生徒たちの様子を見ていただき、後輩たちを引き続き応援していただければ幸いです。



在校生の活躍
(真澄会激励金贈呈)

◇2024年度下半期◇

★女子ハンドボール部(団体)

◇令和6年度全国高等学校総合体育大会・高松宮記念杯第75回ハンドボール選手権(福岡県久留米市)

★女子ハンドボール部(団体)

◇第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会 オール神奈川強化合宿(京都府船井郡ほか) 相澤、入村、兼弘、佐野、石橋、山田、前田、中村

★女子ハンドボール部(団体)

◇第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会 オール神奈川(山梨県甲府市) 相澤、入村、兼弘、佐野、石橋、山田、前田、中村

★ダンス部(団体)

◇第17回日本高校ダンス部選手権大会夏の公式全国大会ビッグクラス 関東・甲信越大会(東京都八王子市)→全国大会(パシフィコ横浜・国立大ホール)

★かるた部(団体)

◇第46回全国高等学校選手権大会(滋賀県大津市ほか)

★陸上部(個人)

◇令和6年度第28回関東高等学校選抜新人陸上競技選手権大会(栃木県宇都宮市) 北村晃希(男子走高跳)

★かるた部(団体)

◇第31回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会(横浜武道館) 神奈川代表 前田、吉野、芝村、田淵、中川

★陸上部(個人)

◇2024年度日本陸上競技連盟U-19 関東

地区強化合宿(神奈川県立スポーツセンター) 北村晃希(男子走高跳)

★女子ハンドボール部(団体)

◇第39回関東高校ハンドボール選抜大会(埼玉県和光市)

★女子ハンドボール部(団体)

◇第48回全国高等学校ハンドボール選抜大会(大分県大分市)

◇2025年度上半期◇

★ダンス部(団体)

◇第32回神奈川県高等学校ダンス新人大会(海老名市)

★女子ハンドボール部(団体)

◇令和7年度関東高等学校ハンドボール大会(群馬県)

第23回 体育祭

第23回体育祭は5月9日(金)曇天のもと開催されました。

開会式では実行委員長が「幸運」の手話を披露し、生徒全員で各団へ幸運を呼び込みました。

今年度のファウストから男子生徒も参加しての競技となりました。令和の時代にあった素晴らしい競技だったと思います。

また、新しい競技の借り物競争、綱引きがあ



教諭:鈴木洗貴



りました。特に午後に行われた競技の「騎馬戦」や「飛び

つき綱引き」では両者一步も譲らない白熱した戦いを見ることができました。

それぞれの組で一生懸命に取り組んだ応援合戦の第1位は夏組でした。そして、全体優勝は春組でした。体育祭実行委員、放送部をはじめとする運営に携わった各部活動生徒ならびに全校生徒の皆さん、本当にお疲れ様でした。

第48回 平沼祭

6月28日、29日平沼祭が開催されました。猛暑の中、開場前から多くの来場者が訪れました。

各クラス、部活動の工夫を凝らした展示や発表は見ごたえがあり、またたこ焼きなどの調理団体も大盛況でした。創立125周年を記念した物品販売も行われ、中でも平沼高校の制服をかたどった箱入りハーバーは完売となりました。



ハーバー
ジャンパースカート
パッケージ

123期 修学旅行[2024年10月1日(火)~4日(木)]

教諭:高木進玄

10月1日(火)から4日間、山陽関西地方に行きました。1日目は新幹線で広島へ向かい、平和記念公園を訪れ、平和学習を行いました。生徒たちは展示を真剣なまなざしで見つめ、戦争の悲惨さや平和の大切さを学び



ました。2日目は宮島の厳島神社を参拝し、午後は尾道・倉敷に分かれクラス別の体験を実施しました。生徒はそれぞれの地域の歴史や文化に触れ、関心を深めていました。3日目はしまなみ海道サイクリング・うどん作り体験・姫路城見学の3つに分かれて回りました。どのコースも神奈川県では体験できないようなプログラムで、生徒もとても楽しそうに活動していました。4日目は大阪市内班別自主行動で、生徒はUSJや大阪市内など事前に立てた計画をもとに生徒同士が協力しながら行動していました。雨が多く、天候

に恵まれませんでした。大きな事故もなく終わりました。生徒たちは充実した顔で帰ってきて、生徒の成長を感じられる良い修学旅行だったと思います。



教職員人事異動 令和7年4月1日発令(敬称略)

転入										転出														
職	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	職	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名	氏名					
事務	佐藤日出雄	川原隆	石井吾一	上松純子	山崎慶子	山家百合子	矢作敏弘	神谷優香	神奈川総合高等学校	事務	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
事務	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	家庭	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
家庭	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	社会	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
外国語	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	外国語	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
芸術	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	理科	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
芸術	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	社会	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
芸術	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	国語	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
数学	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	国語	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
芸術	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	国語	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
芸術	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	国語	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校
芸術	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	新採用	神奈川総合高等学校	国語	和千	齋藤千	吉田俊	高橋勝	西澤均	二川敬	宇佐美健	井本和	木村拓	岡田真	山本大	富田泰	藤田百合子	保土ケ谷支援学校

学校により

国公立大学	私立大学	省庁大専校	専門学校
横浜国立大学 13人	神奈川大学 87人	航空保安大学校 1人	情報科学専門学校 2人
横浜国立大学 6人	法政大学 57人	防衛医科大学校 1人	聖灯看護専門学校 1人
東京理科大学 5人	青山学院大学 49人	省庁大専校合格者数計 2人	日本工学院専門学校 1人
神奈川県立保健福祉大学 3人	東洋大学 46人		
お茶の水女子大学 2人	明治学院大学 44人		
東京海洋大学 2人	工学院大学 40人		
東京学芸大学 2人	専修大学 38人		
京都大学 1人	立教大学 38人		
北海道大学 1人	日本大学 31人		
東北大学 1人	中央大学 30人		
埼玉大学 1人	成城大学 29人		
筑波大学 1人	駒澤大学 28人		
電気通信大学 1人	東京都市大学 24人		
東京科学大学 1人	國學院大学 22人		
三重大学 1人	学習院大学 20人		
国公立大学合格者計 41人	武蔵野大学 17人		
	早稲田大学 17人		
	北里大学 14人		
	東海大学 14人		
	東京理科大学 14人		
	昭和女子大学 13人		
	日本女子大学 12人		
	成蹊大学 11人		
	東京農業大学 11人		
	慶應義塾大学 9人		
	東京電機大学 9人		
	芝浦工業大学 8人		
	東京工科大学 8人		
	麻布大学 7人		
	湘南工科大学 7人		
	多摩美術大学 7人		
	工学院大学 6人		
	産業能率大学 6人		
	上智大学 6人		
	武蔵大学 6人		
	鎌倉女子大学 4人		
	関東学院大学 4人		
	共立女子大学 4人		
	実践女子大学 4人		
	東京家政大学 4人		
	東邦大学 4人		
	桜美林大学 3人		
	大妻女子大学 3人		
	杏林大学 3人		
	湘南医療大学 3人		
	津田塾大学 3人		
	帝京大学 3人		
	東京女子大学 3人		
	東京薬科大学 3人		
	立正大学 3人		
	立命館大学 3人		
	学習院女子大学 2人		
	関西学院大学 2人		
	国士館大学 2人		
	順天堂大学 2人		
	昭和薬科大学 2人		
	聖心女子大学 2人		
	玉川大学 2人		
	東京医科大学 2人		
	東京医療保健大学 2人		
	東洋英和女学院大学 2人		
	獨協大学 2人		
	星薬科大学 2人		
	横浜薬科大学 2人		
	亜細亜大学 1人		
	国際医療福祉大学 1人		
	駒沢女子大学 1人		
	相模女子大学 1人		
	昭和大学 1人		
	女子美術大学 1人		
	聖路加国際大学 1人		
	帝京科学大学 1人		
	日本体育大学 1人		
	日本獣生命科学大学 1人		
	フェリス学院大学 1人		
	放送大学 1人		
	武蔵野美術大学 1人		
	私立大学合格者計 878人		
	服部栄養専門学校 1人		
	横浜市病院協会看護専門学校 1人		
	専門学校合格者計 6人		



支部により

●石川支部

竹内(深野)優美子(77期)

今年も真澄会石川支部のランチ会を金沢ニューグランドホテルで重田さん、今井さんと私の3人で5月11日(日)に開きました。天気は良かったのですが、団体客が入っていて満席でした。いつものように3人の近況を話しながら、フランス料理のコースを頂きました。今年もみんな元気に会えて良かったです。また来年も楽しく食事ができればいいなと思っています。



●仙台支部

斉藤(藤)彰世(66期)

コロナ禍もありこの所“仙台真澄会”としての活動はほぼ休眠状態でしたが、6月6日(金)12時に七北田公園で松岡(小谷)千代子さん(57期)と待ち合わせ久しぶりの再会しました。窓から見える目に染みる木々の緑が鮮やかな喫茶室“kasvi café”で約2時間程近況についてお喋りに花がさきました。松岡千代子さんは変わらず趣味のチェロと陶芸、またご家族の食事づくりにお忙しい日々。私も相変わらず東北大学留学生を支援するボランティア活動で若い方から刺激を受けたり、プールでのエクササイズなどに一日があつという間に過ぎてしまいます。この歳になると身体と心の健康の話題が一番になりますが、これからは一年に一度とは言わず出来る時はまたお会いしましょうと言って別れました。



●埼玉支部

加藤(高橋)真理(67期)

2025年6月22日(日)埼玉支部総会・見学会を開催しました。梅雨の晴れ間、蒸し暑い一日でしたが、58期から80期まで19名のご参加を頂きました。また今回は真澄会皆藤会長もご多用の中ご参加下さいました。有り難うございました。今年度は6年振りに見学会も再開、埼玉県が誇る偉人渋沢栄一翁を偲んで東京都北区王子にある飛鳥山公園を散策しました。はじめに渋沢資料館前で集合写真を撮影し、館内を見学しました。次に公園内の「エプロンマーク」で昼食会。予め皆様を選んで頂いたランチに舌鼓。昼食後、渋沢庭園内の木陰で総会。皆様から近況報告をして頂きました。健康で過ごせる秘訣など楽しいお話を伺って散会しました。今回は80期の林さん、平出さんのお二人に司会をお願いしました。埼玉支部は今後も活動を頑張っていきます。関心のある方からのご連絡をお待ちしております。



●西湘支部

安藤(佐藤)澄子(68期)

2024年8月7日(水)から12日(月)まで、横浜高島屋美術画廊に於いて「ももふねちふね展」が開催されました。参加者が2年前から準備している事を知り、西湘支部会として何か出来ないか考えました。賑わいの創出ならばと、毎年11月開催の支部会を8月に前倒しする事にしました。8月8日(木)猛暑日の中、25名の方が画廊の入り口に集合。真澄会より贈られた華麗なお花が私達を出迎えてくれました。会場は、ジャンルを超えてのコラボレーション作品もあり”領域を越える”という展示で、単なる同窓会展ではないという印象を受けました。これは時代の流れと変化を敏感に感じとり、新たな世界へチャレンジする、江戸時代から続く高島屋スピリットの後押し無しには成し得なかった事でしょう。その後ホテルのレストランへ移動し、会食となりました。自身のコンサートの予定、校歌祭の様子等、ふと気が付けば音楽の話題が中心となっていました。午前中は美術、午後は音楽、そして同窓生の落語家の紹介など、盛り沢山な一日となりました。格調高い校歌を真柱として、これからも文化的な校風を皆で作りに行こうと思えました。



●いづみ支部

岡本康宏(通48期)

2024年11月2日(土)、いづみ支部懇親会を横浜駅前の「季節料理なかー」で開催いたしました。今回2名の初参加で宮城県から来られた方もいました。懇親会では5期から51期までの17名で近況報告などを語り合いました。食後は近くのカラオケボックスに12名で行きました。今回は雨が降っていましたが、17名もの人数で開催できて感謝です。また、真澄会で創立125周年式典の取り組みがあることで、皆様前向きに質問などしていました。来年の再会を話し、雨の中で皆様帰りました。支部を支えていただいている真澄会などありがとうございます。創立125周年式典の成功を願います。



●平塚支部

永年続けてきましたが平塚支部は2024年夏に役員が集まり、閉会することとなりました。今までのご協力、ご支援ありがとうございました。役員 三田(遠藤)操(49期)、進藤(横田)かほる(62期)、海藤(今井)てる子(63期)

令和6年度 先輩セミナー [10月24日]

2024年10月24日(木)に1年生を対象としたキャリア教育の一環として、社会のさまざまな分野で活躍している卒業生を講師とした「先輩セミナー」が実施されました。

「SDGsの理念と人権を大切にするにはどうしたら良いか？」



- 経歴○
- 1965年 東京大学法学部入学
- 1968年 外務公務員採用上級試験合格
- 1969年 3月卒業式が行われなかったため東京大学法学部第2類中退
- 1969年 外務省入省後、オックスフォード大学留学
- 2007年 国際連合日本政府代表部特命全権大使(国連大使)
- 2010年 国連事務総長特別顧問(人間の安全保障担当)
- 2012年 国連事務次長(管理局長)
- 2019年から公益財団法人日本ユニセフ協会代表理事会長

講師には高須幸雄さん(62期)をお迎えし、124期全員が小ホールに集まり、お一人の講師からお話を伺うという例年とは異なる形態での先輩セミナーとなりました。「世界の子どもの課題、アジェンダ2030・SDGs、人権、子どもの権利など」のテーマのもとご講演いただきました。高須さんは、オックスフォード大学卒業後1969年外務省入局。国連にて数々の役職を歴任後、2012年に日本人として8人目の国連事務次長に就任。現在は日本ユニセフ協会の代表理事会長として活躍されています。高須さんからは事前に、講演に対する課題と資料が配布され、各々がそれに取り組んで参加することになっていました。プロジェクターで映し出された資料の中で、ウクライナ市民の被害とガザ難民への攻撃による子どもへの被害を示した数字は、戦争は子どもが巻き込まれ被害を受けるという事実を被害映像ではなくとも印象深く残しました。また、「誰がどこで取り残されているか」を国内の例を挙げ、「問題を可視化することの大切さ」を示してくださいました。次に「皆さんの権利が一番大切だと思うかな?自分の選んだ権利を発表してもらおう!指すからね!」と高須さんのおっしゃると、場内の空気は一気にピリリと緊張感MAXへと変わりました。10名近くの生徒が指名され、高須さんは、生徒一人ひとりの回答を聞きながら受け止め、「人権を大切にするには、自分に自信をもつ。一人で悩まない。違いを認める。等が大切なのだ」と教えてくださいました。最後に、代表生徒より花束を受け取られ、優しい笑顔で何度も大きく手を振られ124期生の拍手に送られ会場を後にされました。この時の笑顔に、先生の優しさと強さを垣間見る思いがし、これまでの一貫したご活躍の原動力になっているのではないかと感じました。



害映像ではなくとも印象深く残りました。また、「誰がどこで取り残されているか」を国内の例を挙げ、「問題を可視化することの大切さ」を示してくださいました。次に「皆さんの権利が一番大切だと思うかな?自分の選んだ権利を発表してもらおう!指すからね!」と高須さんのおっしゃると、場内の空気は一気にピリリと緊張感MAXへと変わりました。10名近くの生徒が指名され、高須さんは、生徒一人ひとりの回答を聞きながら受け止め、「人権を大切にするには、自分に自信をもつ。一人で悩まない。違いを認める。等が大切なのだ」と教えてくださいました。最後に、代表生徒より花束を受け取られ、優しい笑顔で何度も大きく手を振られ124期生の拍手に送られ会場を後にされました。この時の笑顔に、先生の優しさと強さを垣間見る思いがし、これまでの一貫したご活躍の原動力になっているのではないかと感じました。

今年度の先輩セミナーは7月3日(木)に行われました。●坂元 昇さん(68期) ●小林 康之さん(79期) ●若山(山口)薫さん(79期) ●千葉山貴公さん(94期) ●佐藤 隆志さん(98期) ●酒井 一輝さん(103期) ●菅原 由夏さん(103期) ●南條 玄さん(104期)

ベアヴェニュー法律事務所

さとう たかし
弁護士 佐藤 隆志(98期)

日本大通り駅から徒歩4分、関内駅から徒歩8分
〒231-0007横浜市中央区弁天通2丁目21番地 アトム関内ビル6階
TEL: 045-319-4486 FAX: 045-319-4487 <https://bay-ave.jp> E-mail: t-sato@bay-ave.jp

真澄会の方
初回相談料
30分無料

横浜室内管弦楽団 小柳範弥(72期)

母校の創立125周年おめでとうございます。横浜室内管弦楽団はオーケストラ部の卒業生が集まり1978年に創立、その後卒業生以外のメンバーも参加するようになり現在に至ります。創立当時から指揮・音楽監督をお願いしている笠原勝二さん(72期)の指導のもと、定期演奏会を中心に演奏活動を行っています。4月20日には、第60回演奏会を神奈川県立音楽堂で行いました。指揮は笠原勝二さん、ベートーヴェン交響曲第6番「田園」他を演奏。次回演奏会は11月3日(月・祝)に小演奏会をフォーラム横浜にて、来年の4月25日(土)に第61回演奏会を神奈川県立音楽堂で行います。会報をご覧の皆様、この機会にぜひご来聴ください。また、弦楽器は各パート団員募集していますので、お気軽にお問い合わせください。
横浜室内管弦楽団ホームページ
<http://www.eva.hi-ho.ne.jp/yoko-shitsu/>



横浜平沼山岳会YHAC 青木康男(70期)

YHAC 横浜平沼山岳会は、高校山岳部のOBOG会を母体として、最年長50期生を筆頭になかよく山行を実施しています。中心メンバーは60~70歳の年齢層。会員外の同窓生を含めた手軽な近郊ハイキングを年数回実施しています。最近、富士宝永山パスハイイク、湯河原葛山ハイイク、横浜山手お花見ハイイクなどを実施しています。会員の中には、百名山、二百名山などの達成者、海外登山経験者もおります。体力キープに山歩きは如何ですか?真澄会会員の方であればどなたでも一般参加は大歓迎です。お一人で参加しても同窓生がケアしますのでご心配なく。興味のある方は、ご連絡下さい。
diviyama3033@gmail.com



ソフトボール部OG会 小林(山下)陽子(79期)

2025年1月11日(土)、真澄会室にてソフトボール部OG新年会が開催され、コーチや部員を含む16名が集まりました。顧問の先生方は残念ながら欠席でしたが、会食と歓談、あみだくじ大会、そして、島(内藤)まゆみさん(71期)のウクレレ演奏に合わせた合唱など、笑顔あふれる時間となりました。スポーツクラブ「カープス」に通う方が多いことが話題となり、「えっ、あなたも会員なの?」「私もよ!」と意気投合する場面も。健康維持の大切さを感じるひとときでした。栃木県、群馬県、名古屋市など遠方からもご参加いただき、会の開催にご協力くださった皆様とあわせて、あらためて感謝申し上げます。特に印象的だったのは、高校時代に校庭で拾った横浜第一高等女子学校の校章を、数十年越しに持参してくださった方がいたこと。貴重な品に皆が見入っていました。こうして毎年集まれることのありがたさを噛みしめています。ソフトボールOG会では公式LINEも開設しています。ぜひご登録を!



バレーボール部OBOG会平沼クラブ 埴田徹(70期)

創立125周年、おめでとうございます。自分の記憶では、創立100周年記念を横浜平沼高校の校庭で行ったのをうっすらと覚えております。母校の歴史がこのまま続いていくことを切に願っております。さて、バレーボール部ですが、男子は休部中で女子のみの活動となっています。顧問のご指導もあり、各大会で1、2回戦を突破し、その先に進めるようにと日々練習に励んでおります。我々バレーボール部OB会も、現役部員たちが少しでも快適に練習できるようにと、微力ながらバックアップさせていただいております。今年も8月に真澄会室でOB会総会を開催し、現役生の活動報告並びに今後のバックアップ体制を確認していく予定です。

よみがえる

青春時代!

吹奏楽部後援会若奏会 佐久間(津久井)まゆ(103期)

吹奏楽部後援会若奏会(わかなかいは)、2007年に発足した吹奏楽部の卒業生による後援会です。10月に現役生との交流会を実施し、学校で『校歌』『宝島』を合奏した後、西地区センターでのイベントに参加した吹奏楽部の演奏を鑑賞しました。その後、卒業生の食事会を行いました。他には、連絡先のわかる吹奏楽部卒業生557名へ定期演奏会案内ハガキを送付し、支援金として7万円を吹奏楽部に贈りました。今後も吹奏楽部が充実した活動ができるよう、また卒業後も部とのつながりが持てるよう活動していきたいと思ひます。ご興味のある方はwakanakai_hwo@yahoo.co.jpまでご連絡ください。



横浜ぬらひま団 鎌田健二郎(76期)

昭和58年に吹奏楽部の卒業生によって結成された当団は昭和・平成・令和3つの時代を生き抜き、今年創立42周年を迎えました。現在では誰でも参加できる一般市民吹奏楽団体と形を変え活動をしています。去る7月6日(日)神奈川県立音楽堂で第37回吹奏楽演奏会「ぬらひま37」を開催いたしました。今年最初の猛暑日となりましたが映画誕生130周年を記念して「吹奏楽 de ロードショー〜シネマは世界を駆け巡る〜」と題して世界各地を舞台にした映画の音楽を演奏し、満員のお客様から拍手をいただきました。来年は「ぬらひま38」を開催し「輝け!黄金のポップス大全集 バック・トゥ60's」と題して坂本九やサイモン&ガーファンクルなどの名曲を演奏いたします。真澄会員の皆様にもご来場いただければ幸いです。日時・会場等決まりましたら当団HP(<https://nurahima.amebaownd.com>)でご案内いたします。



ハンドボール部OBOG会 小林正人(73期)

ハンドボール部の後輩たちのミラクルな快進撃に、OBOGはうれしい支援を続けています。現役は関東選抜大会へ神奈川県2位での出場となりました。山梨県1位の日川高校に見事に勝利して、3年連続7回目の全国選抜大会への出場を果たしました。後輩たちの活躍を讃え激励する為に、3月に母校小ホールで総勢77名の参加にて壮行会を挙行しました。併せて、インターハイで全国ベスト16に進んだ122期の卒業生を送る会を行いました。一方シニアOBOGで活動している横浜平沼マスターズは、5月に台北で行われたWorld Masters Gamesでハンドボール競技の50歳以上のカテゴリーに参加して、Yokohama Hiranumaの名を世界に広め、ポーランドやチェコのチームと対戦して国際交流を深めました。



横浜平沼藤弓会 指田(長部)純子(102期)

本会は弓道部OBOGで組織する弓道団体です。現役部員の支援のほか、卒業後も気軽に弓道を続けたいというOBOGの受け皿となるべく活動しています。毎年、現役部員と合同で納射会を開催しています。納射会は日頃的中率に関わらず、全員が楽しめることを念頭にゲーム要素を取り入れた特別ルールで行い、景品も出る楽しい会です。その他、毎月、本校弓道場にて現役部員との合同練習会を開催していますので、ぜひ一度足をお運びください。yh.tokyukai@gmail.com



SDKK 新興電設工業株式会社

電気設備工事・電気通信工事・管工事
住所：〒220-0042 横浜市西区戸部町2-46-1
電話：045-241-7711

代表取締役 池松 忠彦 (62期)
工事部 竹田 拓矢 (110期)



TEA & COFFEE
あひるこ
〒231-0063 横浜市中区花咲町3-96(音楽通り)
☎(045)242-8339
しとり
倭文 敏夫(64期)

細水 亨 (63期)
〒220-0023 横浜市西区平沼1-33-18
TEL (045)321-4202
FAX (045)321-4255

野球部OBOG会 今井哲志(75期)

神奈川県立横浜平沼高校野球部OB会は昨年のOB会総会において総則の変更を行い、神奈川県立横浜平沼高校野球部OBOG会と名称が変わりました。今年では野球部も創部75年を迎えます。2010年(平成22年)が野球部創部60年にあたることから記念誌作成が決定し、現在は75周年記念誌作成委員会を中心に来年(2026年(令和8年))3月の完成を目標に活動しています。まずは4月に50期(2名)、57期、60期、65期、69期のOBにお集まりいただき、座談会を開き野球部草創期の貴重なお話を伺うことができました。

また、神奈川県立横浜平沼高等学校創立125周年を盛り上げるべく11月頃には神奈川県立横浜翠嵐高校野球部のOBOG



をお招きして平翠戦が行えるよう企画検討しています。

The bond connecting us

バスケットボール部OBOG会 豊田哲志(75期)

現在、平翠戦が行われており、バスケット部OBも翠嵐とのOB対抗戦を意識しています。2024年度はコロナの影響で十分な練習ができなかったため、OB対抗戦は実施されませんでした。母校の開校125周年という節目には、ぜひ対抗戦を開催したいと考えています。そのためOBの有志が現役選手の練習相手として、時折練習に参加しています。参加しているのは主に30代から40代の働き盛り世代で、ご家庭の事情もあるなか、時間を割いて協力してくれています。また、母校での試合には応援に駆けつけてくれる同窓生の姿もみられるようになりました。現役の選手は男子・女子ともに人数が少ない傾向にあり、練習相手としてOBに参加してもらえるのは非常にありがたいことです。加えて、OB同士の交流が活発になることも期待しています。



陸上部OBOG会 佐野(野村)紀子(79期)

陸上部78期・79期の有志で「じん子先輩(田原淳子さん78期)」を囲んで2024年1月21日(日)にランチをしました。

先輩は高校時代、いつもニコニコして優しく、頼り甲斐のある方でした。大学卒業後も学問を積み、スイスの国際オリンピック委員会では、オリンピックの理念、歴史、教育の在り方の研究を進めてこられました。世界を駆け回る忙しい中、何十年ぶりでやっと会うことができ、すぐにあの頃に帰って他愛のない話に花が咲き、楽しい時間を過ごすことができました。その数ヶ月後、じん子先輩が国士館大学学長に就任されるということで、皆大変驚きました。じん子先輩の持ち前の穏やかな優しさ



と今までの研究を活かし、素晴らしい学校運営をされることと思います。また会ってお話できる日が楽しみです。

サッカー部OB 洞野卓宏(90期)

2025年3月22日(土)サッカー部平翠戦を実施いたしました。OBチーム編成にあたっては90期を中心に声をかけ、最終的に82期から122期まで総勢20名のメンバーが集結。当日は当時の顧問の先生やマネージャーの方々も応援に駆けつけていただき、懐かしい仲間と共に母校グラウンドで試合をすることができ、とても楽しい時間となりました。今回の対戦をきっかけに翠嵐OBチームとの定期戦の話も浮上し、平翠戦のおかげで今までなかったサッカー部の縦のつながりを作ることができました。

あらためて、今回の平翠戦企画にご尽力いただいた学校関係者の皆様、真澄会および翠嵐OB会の皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。



十年ひとふし

同期会・クラス会開催報告

第51期 小島 温

2025年6月18日(水)横浜ルミネのつばめグリルで同期会を開きました。



第62期 山口(森園)玲子

梅雨入りが発表された2025年6月10日(火)、62期の全体としては最後と銘打った同期会がホテル・ザ・ノットヨコハマで開かれました。今年我々の殆どが79歳となり、数え歳で傘寿を迎えます。12時の開会に先立ち、真澄会歴史資料展示室の見学希望の方を皆藤会長が案内していただき、とても喜ばれました。参加者も毎回減ってきている昨今ですが、50名の参加がありました。遠くはオーストラリアのシドニーから40年振りの方も!

残念ながらすでに50名の方々を鬼籍に入られた事も分かり、幹事長の挨拶の後、全員で黙祷を捧げました。

今回は趣向を凝らし、同窓生で90期の落語家柳家小せん師匠をお招きして一席を設けました。素晴らしい話術に会場が笑いに包まれて大いに盛り上がりました。



第69期 堺 和幸

2025年1月26日(日)、ホテル・ザ・ノットヨコハマにて、20数年ぶりとなる69期同期会が開催され、華やかな宴となりました。卒業から53年、古希を迎えた130名が、まるで昨日のこのように高校時代に戻ったかのようなひとときを過ごしました。変わらぬ笑顔で語り合う姿、若かりし頃の思い出話に花を咲かせる姿、そこには年齢を感じさせない若々しさが溢れていました。スライドショーが始まると、会場からは歓声や笑い声が響き渡りました。

最後は全員で校歌を斉唱し、会場全体が一つになった感動的な瞬間でした。三本締めをもって盛況のうちに幕を閉じ、心に残る一日となりました。



第78期 木下 聡

2025年4月20日(日)、横浜中華街「桂宮」にて開催いたしました同期会が、無事に終了しました。

今回は「44年目のホームルーム」と題し(卒業が1981年3月でしたので、44年目としました)、大森先生と生徒34名のご出席を

いただき、ホームルーム形式での集いを行いました。

78期としては初めての同期会の開催でしたが、44年ぶりの再会を皆さま本当に喜んでくださり、開催して良かったと心から思っています。

引き続き、78期は学年の結束を新たに、今後も活動を継続していきたいと考えております。

第120期 平井 優作

2025年1月11日(土)、ホテル・ザ・ノットヨコハマにて、120期生「二十歳の同期会」を開催いたしました。

先生方を含めて、当日は250人ほどの人が集まり、皆さん楽しく過ごしていた印象でした。2年という期間はあっという間で、とても懐かしく、それぞれが今どうなっているのかや、過去の話などで盛り上がり、3時間では足りないほどでした。



ますみだより

会員からひとこと

第59期 地代所達也

真澄会報66号が届きました。冒頭の座談会、大変興味深く拝読しました。「校歌斉唱!日本人が育んだ学校文化の謎」渡辺裕著に我が校歌に一節が割かれており、世間的評価がわかりました。我々には新味はないのですが、正確に書かれてるようです。学校なり真澄会が資料提供など協力したのでしょうか?

歴史資料委員会より

はい、2023年8月1日に真澄会室に取材にいらっしや、歴史資料展示室をご覧になり平沼時報を閲覧なさいました。

母校、創立百二十五周年に寄せて

横浜平沼高等学校を卒業して、五十年が経ちました。同期の仲間は、多少の不幸はありながらも、程良く年齢を重ねて今があるように思います。

私達75期は、一定の間隔を守りつつ同期会という形で、全ての仲間が集まれる機会を持つことができました。現在は四年に一度、参加者は少しずつ数を減らしているものの、昨年の同期会には約八十名が集まり、旧交を温めました。高校時代の同期は、当時と同じように心の通じ合った仲間であり、今でもかけがえのない友人です。同期会の幹事仲間は、なるべく多くの同期と連絡を取り、音信不通にさせないように探し出すという意味を込め、「平沼探偵団」と名乗り、活動を続けてきました。この団員たち

75期同期会

の大多数が今や真澄会理事や事務局、真澄会ボランティアなどの構成員となっております。皆様のお役に立てているのでしょうか。同期会運営にあたり、前回からの余剰金や、数多くご参加いただいた恩師からの寄付金など、毎回繰越金を会計の任にある仲間が管理してまいりましたが、年齢的なことやこのご時世など鑑み、一度清算することにしました。そこで、今ある繰越金を、より広い意味での仲間である同窓会組織に、有意義に役立てていただきたく、寄付いたします。横浜平沼高等学校・75期一同より 寄付金額・二十五万円 代表75期同期会幹事長/真澄会評議員 神林英昭

つむぎ法律事務所
 弁護士 梅田 沙知 (旧姓 清水・99期)
 〒350-0042
 埼玉県川越市中原町1-5-9 S & Tビル1階
 TEL 049-277-3297 <https://law-tsumugi.com/>

フクナガ動物病院
 FUKUNAGA ANIMAL HOSPITAL
 ☎0748-33-5333
 動物たちの「心」に耳をすませ 丁寧な治療を心がけています
 福永(岸村)めぐみ(103期)

44年ぶりに復活 「平翠戦」物語

1954(昭和29)年～1980(昭和55)年に在籍した生徒にとって、年一回の「平翠戦」は忘れえぬ思い出の1ページである。昨年創立110周年を迎えた横浜翠嵐高等学校、今年創立125周年を迎える横浜平沼高等学校。昨年度からメモリアルイヤーの記念事業として年間通して両校間での部活対抗戦が行われている。昨年は横浜翠嵐高校が主催の「翠平戦」、今年度は横浜平沼高校主催の「平翠戦」。44年ぶりの「復活」である。

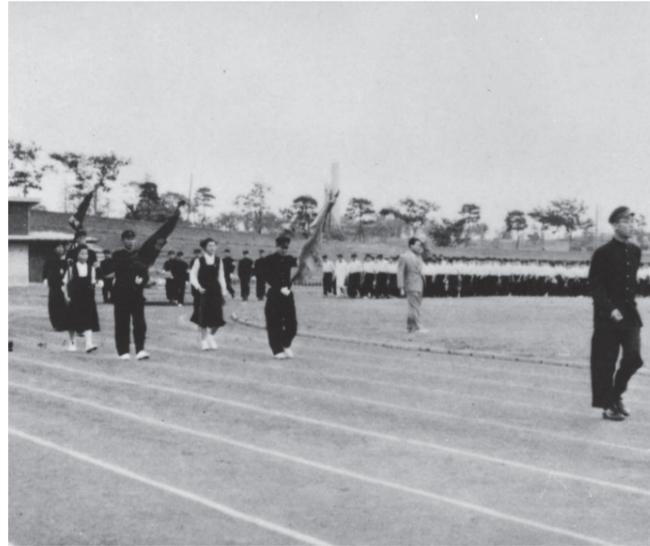
なぜ翠嵐との対抗戦か・男女別学時代からの縁

■「平翠戦」の実施からさかのぼること5年、1949(昭和24)年12月6日、当時「横浜第二高等学校」だった横浜翠嵐高等学校は不審火による火災で校舎の大半を失う。当時「横浜第一女子高等学校」だった本校は見舞金の募金を実施するとともに、校舎東側の8教室を貸与した。教科の研究室も明け渡され、職員は全員職員室に移動した。平翠戦につながるきっかけとして語られている。

■1950(昭和25)年には、両校とも共学となり「横浜翠嵐高等学校」、「横浜平沼高等学校」としてのスタートを切っている。1951(昭和26)年、翠嵐の新校舎完成を機に、「同居」生活は終わりを告げたが別学時代から交流があり、距離的にも一番近い県立高校同士の両校間で対抗戦が始められることになった。

■時期が7月になったのは年に一度の選送を牽牛と織女(彦星と織姫)になぞらえたためと言われている。

男女別学の名残が感じられるエピソードである。



1957(昭和32)年 開会式

正式名称は「平沼・翠嵐体育対抗戦」

■第一回「平翠戦」は1954(昭和29)年7月8日、三ツ沢競技場で行われた。翠嵐の職員・生徒は「翠平戦」と呼び、平沼の生徒は「平翠戦」と呼ぶが、正式名称は「平沼・翠嵐体育対抗戦」となっている。『花橋』第9号には、名称決定の際に平沼がジャンケンに勝ったからであるといういきさつが記されている。



優勝旗

親睦に勝る勝利への執念

■両校の親睦が目的で始まった対抗戦ではあったが、勝敗へのこだわりは強い。第3回では水泳競技の採点を巡って平沼が判定に疑義を挟む。第4回では翠嵐の選手エントリーに関して問題が指摘される。第6回から平沼5連勝のあと、第11回で徐々に勝利した翠嵐。「翠嵐時報」の見出しには「雌伏5年・ずっしりと重い優勝旗」の文字が躍り、雪辱に燃える猛練習ぶりも記されている。第11回終了後には競技規則(本則)、実行委員会細則、規約委員会細則、競技規定細則が設けられた。



1975(昭和50)年 応援風景

「平翠戦」こぼれ話あれこれ

■〈売店も〉1954(昭和29)年から56(昭和31)年ごろは、アイスクリームとパンの売店も出された。売店の収益金は家庭クラブの全国大会派遣費用に充てられた。

■〈選手宣誓代役〉1959(昭和34)年第6回、開会式の選手宣誓で翠嵐の選手が登場しないというハプニングが。前年度の優勝旗を返還した翠嵐の主将が急遽代役を務めた。

■〈二日に亘る熱戦〉前年、学園紛争の余波で中止を余儀なくされ、二年ぶりだった第17回は、昼前から降り出した雨のため、午後の競技はバスケットボールを除いて翌日に延期された。平翠戦史上唯一の二日に亘る熱戦は平沼の勝利に終わる。

■〈文芸版平翠戦〉1969(昭和35)年、翠嵐新聞部からの呼びかけで両校合同の文芸コンクールが始まった。詩、短歌、俳句、随筆、創作の5部門で作品が募集され、両校の教員、文芸部員の審査と、全校生徒の投票で入選作品が決定された。文芸版平翠戦ともいえるこのコンクールは1968(昭和43)年、第9回まで続けられた。

■〈部活や職員対抗も〉年によっては、三ツ沢競技場での体育対抗戦に加えて、別日程で部活対抗戦や職員の親睦試合が行われたこともある。1967(昭和42)年には平沼でソフトボール・バレーボール・バスケットボール・テニス・卓球の5種目の職員平翠戦が行われたが、結果は全種目で平沼が勝利を取めた。

対戦成績は12勝13敗

■以降、何度かの中止を挟み、形態も多少変化するものの、対戦は1980(昭和55)年まで25回続く。対戦成績は平沼の12勝13敗。最後となった第25回は翠嵐が勝利し、優勝旗は約20年間翠嵐の玄関に飾られていたが、2003年に平沼に「歴史資料展示室」が作られた際にそこに展示されるようになった。両校間を行き来した優勝旗は当時の値段で20,000円。両校の保護者会から寄付されたものである。部活同士の対抗戦復活に伴い、年間成績の結果勝利した側に渡ることになったが、昨年は残念ながら翠嵐の勝利、優勝旗は現在翠嵐のもとにある。



1976(昭和51)年 応援パネル

歴史資料 展示室から

「校史教育」は高女～平沼100年の歴史が20世紀の歴史と重なることから始まった平沼高校の特色ある教育の一つ。今年(2024)は節目となる125期生を対象に6月11(水)～13日(金)の3日間、クラスごとに歴史資料展示室の見学が実施され、真澄会歴史資料委員会のメンバーが説明を担当しました。歌詞こそ書き直されたものの大正時代

から歌い継がれる「校歌」の由来、昨年から復活した「平翠戦」のルーツなどについて説明を受ける生徒の顔には「へエ～、なるほど!」の表情が。学びの灯火は確実に次なる世代に受け継がれていくことでしょう。(「学びの灯火 次なる世代へ」は創立125周年記念事業のキャッチコピーです。)

第19回 青春かながわ校歌祭

昨年度の「第19回青春かながわ校歌祭」では、真澄会合唱団として母校の校歌と、「星よ 地球よ」(山口泰司作詞・吉田孝古麿作曲)をのびやかに歌い上げ、好評をいただきました。そして今年、「青春かながわ校歌祭」は第20回という節目を迎えます。この記念の回から、これまで全ての演奏を指揮して下さった吉田孝古麿さん(50期)が指揮者を退かれ、清水(牛草)栄里さん(72期)が指揮者となって演奏を行うことになりました。吉田さんは、今後一団員として参加されます。今年度2025年の「第20回青春かながわ校歌祭」は10月18日(土)

■校歌祭に参加して

舘 憲紀さん(58期)
事務局、理事会、指導スタッフの皆さま
昨日の校歌祭、ご指導、ご支援いただき本当に有難うございました。吉田先輩の最後の指揮に自分としては十分に歌えなかったのが反省です。しかし、歌い終わって満足しております。打ち上げ懇親会も楽しく過ごさせていただきました。今年これで練習もないのかと思うと少し寂しい思いがします。また、来年元気に参加させていただきます。本当に有難うございました。

■真澄会合唱団の更なる発展を希望します。

黒澤利時さん(58期)
私はアマチュアですが、長く歌ってきました。プロの合唱の美しいハーモニーや各パートのアンサンブルにはその都度感動させられます。その素晴らしいさを決して否定するものではありません。だが、例えば楽譜が読めなくとも、圧倒的多数の人を集めた合唱の凄さはまた別の迫力があります。例えば、恒例の年末の第九です。百人以上の一定の練習を重ねた第九は毎回新鮮な感動を呼びます。真澄会合唱団には他にない有利な条件があります。練習会場、指揮者、ピアニスト等、合唱に必要なものが全て揃っています。こんな有利な条件を生かさず手はありません。楽譜が読めない、音痴だ、合唱経験がない、こんなこと関係ありません。声の良い悪いも関係ありません。人数が集まり練習を重ねれば素晴らしいものができるのです。一人一人の持つ他に置き換えられない魅力です。真澄会合唱団に平沼高校卒であれば誰でも誘いましょう。仲間が増えれば増えるほどいい合唱になります。心身共に健康になれるのです。合唱の魅力に憑かれた私は一生歌い続けて行きたいです。



やまと芸術文化ホールで開催されます。さらに今年は、母校・横浜平沼高校が創立125周年を迎える年でもあります。11月7日(金)には、パシフィコ横浜 国立大ホールにて記念式典が予定されており、合唱団には校歌斉唱のリードを担ってほしいとの依頼を受けています。このように節目が重なる本年、ぜひ多くの会員のみなさまとともに声を合わせて母校を祝う素晴らしい機会にしたいと思っております。

■校歌祭

日下(川崎)由佳さん(84期)
私が校歌祭に参加するようになったのは、大先輩である中村英信(58期)さんとの10年前の出会いがきっかけです。中村さんとは現在住んでいる横須賀での活動を通して知り合い、当時は同窓生であるとはつゆ知らず...ある時の何気ない会話で「私の母校は普通の県立高校なのに音楽の授業でコールユープンゲンを習い、教室にグランドピアノが置いてあったり、オーケストラ部があるんだ」とお話ししているのを聞いて、もしやと思い「もしかして、平沼高校ですか?」と伺ったところ、ドンピシャ!「私も平高出身です!」「それなら校歌祭で歌おう!」とお誘いいただきました。そこで、同期を2人誘い2015年開催の第10回から参加したのが始まりです。そのころは、同期は私含めて4~5人程度しかいなかったのですが、毎年少しずつ増えていき今年の第19回での84期参加者は10人となりました。今年もまた数人増える予定です!校歌祭での再会を機に、同期だけでなく前後の期の方も含めて、練習後にお茶をしたり飲みに行ったり、お互いの発表会を聴きにいたり、有志でカラオケ大会をしたりと絆を深めています。今では欠かせない恒例行事として毎年とても楽しみにしています。縦の繋がりと横の繋がりで広がっていく校歌祭の輪、これからもどんどん繋がって多くの同窓生に参加してもらえたら嬉しいなと思います。



1914年創業
パン市場 はまだぶんでん
Hamada Bunten
無添加で美味しい安全なパンをオンラインにて全国へお届けします
〒239-0822 神奈川県横須賀市浦賀5-7-5 / ☎046-841-0046
74期 旧姓：松本 濱田 恵里
オンラインShopはこちらから

千葉山貴公 (94期)
春待ち便り
《恋酒盤》《雨雪盤》好評発売中
YOUTUBEチャンネル

一括納入(終身会費)納入者

細尾丸地 [60]	周平 [60]	東(高井)久仁子 [69]	齊藤りえ [74]	奥田(水谷)与志子 [79]	渡辺 正法 [94]
平野(矢沢)節子 [61]	鈴木(堤)裕子 [70]	鈴木(榎本)明美 [70]	坪井美奈子 [74]	井村(伊藤)幸子 [79]	野口 力 [95]
佐々木 耕一郎 [63]	山本(榎本)明美 [70]	今村(中村)美智子 [70]	宮路(渡辺)尚代 [74]	阿弥 良浩 [79]	橋本 広一郎 [96]
奥山(栗竹)和子 [63]	漆原(宮田)清美 [70]	日塔(浜田)まさみ [64]	岩岡 秀之 [74]	大村 昌哉 [79]	長谷川 達也 [99]
金子(石黒)啓子 [64]	石橋(岡元)昭代 [70]	友野(西藤)知恵子 [64]	土谷 信雄 [74]	鈴木 秀治 [79]	金子(寺田)七恵 [101]
石渡 健一 [64]	伊藤(岡元)昭代 [70]	中村(福岡)明子 [65]	中嶋 一俊 [74]	畔柳(川崎)美香子 [79]	松木 勇士 [101]
中村(福岡)明子 [65]	坂倉 明 [70]	穴戸(桜井)順子 [65]	藤田 美智緒 [74]	伊藤(鎌田)幸枝 [79]	瀧澤 千晴 [103]
鈴木 誠次 [65]	外岡 裕介 [70]	阿部(太田)民子 [65]	嘉山(中山)美佐江 [74]	若松 秀樹 [79]	川崎(伊藤)美樹 [105]
桐生 達夫 [65]	上田 順子 [70]	三上(安永)直子 [65]	東野(横山)恭子 [74]	岡部 静香 [80]	竹本(鈴木)智子 [106]
衛藤 英三 [65]	笹木(関)真佐子 [70]	坂神 純夫 [65]	安田 亘 [74]	山本(平野)めぐみ [80]	瓜谷 翠 [109]
小林(鈴木)洋子 [66]	伊藤 晴康 [70]	新藤 孝 [66]	泉 浩 [74]	内藤(市川)弘美 [80]	中尾 恒毅 [110]
駒場(雪)悦子 [67]	伊藤 文彦 [70]	遠山 博道 [67]	水野(小野)光代 [74]	小山(横山)晴江 [80]	渡辺 玄 [112]
遠山 博道 [67]	勝島 英貴 [70]	小田(西藤)悦子 [67]	古川 聖 [74]	牧野(中山)唐子 [80]	大村 航 [114]
小田(西藤)悦子 [67]	高橋(稲葉)洋子 [70]	佐々木 弘子 [67]	匿名 [74]	荒木(村井)美香 [80]	安田 泉希 [114]
田中(岩瀬)裕子 [68]	北川 淳一 [70]	大山 恵美子 [68]	白土(三浦)尚美 [75]	川島 辰雄 [80]	伊藤 瑞妃 [116]
前野(佐藤)真澄 [68]	小松原(亀井)利枝 [71]	湯本(豊島)実和 [68]	市川(伊藤)尚子 [75]	奥富(佐藤)恵津子 [80]	加藤 百合子 [116]
湯本(豊島)実和 [68]	島崎(石原)淑江 [71]	加賀谷(福田)照子 [68]	長谷川(板垣)恵子 [75]	宇都宮(二階堂)克美 [81]	澤井 栞 [117]
高部(山路)正子 [68]	仲松(小林)香子 [71]	伊藤 昭彦 [68]	丸角 淳子 [75]	栗田(山田)浩美 [81]	磯貝 なお [118]
伊藤 昭彦 [68]	風間(齊藤)満里子 [71]	熊久保 孝治 [68]	豊田 哲志 [75]	古田(湯沢)ゆり子 [81]	木村 成宏 [119]
滑川(前田)玲子 [69]	真鍋(中山)須美子 [71]	滑川(前田)孝治 [68]	都島(鈴木)玲子 [75]	古田(湯沢)ゆり子 [81]	斎藤 奈津子 [122]
渡辺(矢吹)千佳子 [69]	佐々木(西)早苗 [71]	吉田(富川)美佐 [69]	中山(富塚)美佐子 [75]	鎌田(芳野)久美子 [82]	佐渡 夏帆 [122]
吉田(富川)美佐 [69]	柴田 柳一 [71]	原 彬子 [69]	椎木 哲 [75]	田村(藤江)朋子 [82]	加藤 十和子 [122]
原 彬子 [69]	藤津 悟 [71]	石井 雅 [69]	小浜(新井)和美 [75]	福島 大吾 [82]	渡部 美弥子 [122]
長谷川 雄二 [69]	伊藤 尋 [71]	柳沼 正人 [69]	前田 一 [75]	吉野 哲也 [82]	太田 百香 [122]
柳沼 正人 [69]	小林(坏)玲子 [71]	大庭 充男 [69]	寺井 一郎 [75]	上原 あずさ [83]	片平 ひなの [122]
小庭(綿引)みち子 [69]	正田 幸弘 [72]	小松本 康義 [69]	柳(石橋)幸子 [75]	平岩 亜紀 [83]	加藤 結菜 [122]
松本 康義 [69]	渡辺(国分)恵美子 [72]	樋口 易代 [69]	鈴木(茅野)久美子 [75]	中本(小池)佳子 [83]	川尻 実優 [122]
樋口 易代 [69]	菅原 正子 [72]	富田 郁夫 [69]	関根(藤田)緑 [75]	土生(熊澤)智美 [84]	伊藤 悠也 [122]
富田 郁夫 [69]	山本 惠紀 [72]	中臣 久 [69]	老川(小笠原)綾子 [75]	和田(長根)准子 [84]	大友 海青 [122]
井上 和幸 [69]	長谷川(熊倉)洋子 [73]	廣木 明夫 [69]	小玉(塘)亜紀 [76]	和嶋(中山)和美 [85]	坂田 晶菜 [122]
渡辺 文雄 [69]	宮本(本間)久恵 [73]	稲森(清水)宏子 [69]	中村(関谷)あやめ [76]	森田 菜穂子 [85]	田島 里菜 [122]
	森村 幹夫 [73]	井上 和幸 [69]	荒川 徹 [76]	高尾(中久木)都 [85]	森田 莉未 [122]
	生島(大下)智江 [73]	廣木 明夫 [69]	高橋(久保田)みさほ [76]	植野 哲彦 [85]	川邊 英孝 [122]
	小池(齊藤)敦子 [73]	井上 和幸 [69]	加藤(柴田)和江 [76]	高橋 健二 [85]	保坂 仁美 [122]
	小林(米塚)貴弥 [73]	松本 康義 [69]	松村(安藤)昌子 [77]	福本(館林)恵子 [85]	八重樫 春乃 [122]
	外池 稔 [73]	樋口 易代 [69]	今井 協子 [77]	高美子 晃 [86]	山口 育海 [122]
	三浦 立久 [73]	小松本 康義 [69]	篠崎(八木)なざさ [77]	阿部(岩切)道子 [87]	其阿彌 優那 [122]
	矢口 忠平 [73]	松本 康義 [69]	森沢 泰 [77]	竹花 里帆 [87]	島崎 和花 [122]
	田中(坂本)多輝子 [73]	樋口 易代 [69]	大澤(岡庭)由規子 [77]	土金 俊哉 [87]	萩原 奏凜 [122]
	佐藤 文昭 [73]	富田 郁夫 [69]	横田 俊也 [77]	児玉 恵子 [87]	坂本 夏望 [122]
	井上(内川)祥子 [78]	中臣 久 [69]	高藤 順 [78]	遠藤 陽介 [88]	相馬 佑哉 [122]
	秋元(末岡)緑 [78]	廣木 明夫 [69]	井上(内川)祥子 [78]	高橋 研二 [88]	田中 翠桜 [122]
	長谷川 裕 [78]	井上 和幸 [69]	秋元(末岡)緑 [78]	横 敏幸 [88]	西村 菜那美 [122]
	齊藤(茅野)郁子 [78]	廣木 明夫 [69]	長谷川 裕 [78]	熊安(佐久間)桂子 [88]	ベルトン 渚樹 [122]
	田原 淳子 [78]	稲森(清水)宏子 [69]	齊藤(茅野)郁子 [78]	井上 恵美 [89]	石郷岡 黎 [122]
	中宮(中川)慈 [79]	井上 和幸 [69]	田原 淳子 [78]	山本 卓宏 [89]	加藤 詩乃 [122]
	小林(山下)陽子 [79]	廣木 明夫 [69]	中宮(中川)慈 [79]	洞野 吉川 [90]	加藤 吉川 [122]
	川上 澄江 [79]	井上 和幸 [69]	小林(山下)陽子 [79]	廣演(佐々木)超 [90]	西山 一太 [122]
	深瀬(平野)恵子 [79]	廣木 明夫 [69]	川上 澄江 [79]	加藤(石崎)八重子 [92]	高木 優衣 [122]
	太田(松倉)久美子 [79]	井上 和幸 [69]	深瀬(平野)恵子 [79]	平戸(望月)あい [92]	佐藤 美沙子 [122]
		廣木 明夫 [69]	太田(松倉)久美子 [79]	木村(木嶋)朋子 [92]	福西 良一 [122]
		井上 和幸 [69]		大沢(児玉)さやか [94]	横山 年子 [122]

大庫(伏島)澄江さん(49期) 2024年8月18日
在学中は体操部に所属し、国体県予選1位、全日本選手権体操競技大会10位、国体9位という成績を取られました。また卒業後は、真澄会評議員の後、2004年から8年間、真澄会歴史担当理事として資料整理に熱心に取り組まれました。創立100周年後、100期3年生有志がファウストを復活させようと活動しはじめた時に精力的にその後押しをしてくださり、ファウスト復活にご尽力くださいました。

斎藤幸雄さん(55期) 2025年4月8日
高校時代はラグビー部と応援団に所属し、保健体育科教員としては昭和36年から昭和51年3月まで15年間本校に勤務され、ラグビー部の顧問として多くの生徒を指導されました。また、真澄会においても理事・副会長として活動し、会の運営に大きく貢献されました。ラグビーへの情熱は晩年まで尽きることなく、そのお人柄と共に多くの方々に慕われ続けました。

スマホ決済に対応しました
郵便局やコンビニに行かなくても、**自宅から会費を納めることができます!**
ご利用いただけるスマートフォン決済アプリ
PayPay au-PAY pb
アプリ起動 → バーコード読取 → 支払い → 支払完了

同窓会には皆々からの会費で運営されています。会費納入にご協力をお願いします。

母校創立125周年記念事業 寄付者ご芳名

Table listing donors and amounts for the 125th anniversary of the school's founding. Includes categories like '寄付金250,000円' and lists of names with amounts.

Table listing donors and amounts for the 125th anniversary of the school's founding. Includes categories like '10,000,000円' and lists of names with amounts.

寄付者ご芳名

Table listing donors and amounts for the 125th anniversary of the school's founding. Includes categories like '10,000,000円' and lists of names with amounts.

奨学金寄付者ご芳名

Table listing donors and amounts for the 125th anniversary of the school's founding. Includes categories like '1,623,255円' and lists of names with amounts.

サポーターズ倶楽部寄付者ご芳名

Table listing donors and amounts for the 125th anniversary of the school's founding. Includes categories like '5,000円' and lists of names with amounts.

【注】2024年8月～2025年7月までに寄付をいただいた方々。氏名後のカッコは卒業期。

Advertisement for '株式会社 やまと' (Yamato Real Estate) featuring a house icon and contact information: 〒232-0032 横浜市南区万世町1-4 やまとビル1階 TEL 045-261-0325 FAX 045-252-3071



創立125周年記念式典のご案内

日時: 令和7年11月7日(金) 開場12:00 開演13:30

場所: パシフィコ横浜国立大ホール

内容: 第一部 記念式典～伝統～

第二部 祝賀行事～未来～

※第一部の最後に校歌斉唱(オーケストラ部の伴奏) ※吹奏楽部、ダンス部などの生徒の発表があります

司会: 柴田 博(84期 朝日放送テレビアナウンサー) 羽鳥 慎一(86期フリーアナウンサー)

【チケット申し込みについて】(下は、はがきの記入見本です)

◇往復はがきでお申し込みください。(往復はがきは各自ご用意ください)

ネットでの申し込みは右のQRコードを読み取ってお申し込みください。

◇申込期間:2025年9月1日(月)～9月16日(火)必着

(ネット申し込みは、9月1日(月)9:00～9月16日(火)17:00まで)

◇申込資格:真澄会員 1回のお申し込みは真澄会員5名までとさせていただきます。

6名以上の申し込みをされる方はお問い合わせください。

◇創立125周年記念事業限定『平沼高校オリジナルパッケージ 横濱ハーバー』

の予約を同時受付(1箱1,500円) ※お渡しは当日会場で現金と引き換えになります。



オンラインでの
チケット申込QR

平沼高校オリジナルパッケージ 横濱ハーバー



学ランとジャンパー
スカートをデザイン
したパッケージ
(表裏面です)



宛先は同封の評議員名簿の表面にある
印字を切り取ってご使用ください

85

2|2|0|6|2|1|8

西區みなとみらい2335
クイーンズタワーC 18階
(株)オフサイド内
平沼125周年受付担当
行

この面に入場引換券
が印刷されますの
で、何も書かないで
ください

85

お申し込み代表者の
郵便番号・住所・氏名

- お申し込み代表者の
氏名・期・携帯電話番号
[同行会員がいる場合、4名まで]
- 同行会員の氏名・期
- 同行会員の氏名・期
- 同行会員の氏名・期
- 同行会員の氏名・期

★ハーバーの予約個数 個
合計金額 円

☆問い合わせ先☆
創立125周年記念
実行委員会事務局
☎045(313)9200
(平日9:00～17:00)

※座席確定は、9月下旬を予定しています。返信のはがきをお届けできるのは、10月上旬となりますので、ご承知おきください。

真澄会室のご利用予約

真澄会室
WEB予約

真澄会室のご利用予約が
ホームページからできます。

真澄会のSNS

真澄会では、有志の方にご協力
いただき、SNSを通してさまざま
な情報を発信しております。
ぜひフォローやお友達登録をお
願いたします。

真澄会ホームページにある以下のアイコンをクリック
すると、それぞれのSNSページが開きます。



こんにちは! 真澄会事務局です

事務局は、毎週火曜日(金)に在室しております。連絡事項、問い合わせ
等は、10時～15時の間にお電話ください。

Tel: (045) 311-3356

E-mail: jimukyoku@masumikai.org

事務局: 岸村(内田)恵子(71期)
高橋(高橋)節子(75期)
小林(山下)陽子(79期)
HPスタッフ: 日下(川崎)由佳(84期)
祖父江(坂上)美也子(100期)
森(相澤)真梨(108期)
総務スタッフ: 中村(大村)晴美(71期)
保坂(藤牧)泉(79期)

私たちと一緒に
活動して下さる
方を募集中です!
お気軽にご連絡
ください!!



岸村 小林 高橋

編集後記

今年は母校創立125周年。その長い歴史の中でも、校
舎建て替えに伴う清水ヶ丘の仮校舎時代を体験された
90期生4名に、当時の様子を語っていただきました。そ
の貴重な歴史の一頁をぜひ、すべての真澄会員と共有
したいと願っています。

編集長: 桐生達夫(65期)

広報委員

山本 克己(72期)
鈴木(茅野)久美子(75期)
須藤 尚紀(78期)
スタッフ: 佐藤(山本)祥子(75期)



真澄会の
ホームページ

https://masumikai.securesite.jp/sp20/sp_main/

神奈川県立横浜平沼高等学校同窓会誌 ますみ(真澄会報)第67号

発行日 2025年(令和7年)9月1日

発行所 神奈川県立横浜平沼高等学校同窓会 真澄会

発行責任者 皆藤 慎一

〒220-0073 横浜市西区岡野1-5-8 横浜平沼高等学校内 電話 (045)311-3356

